



みやっこサポートの理念

● すべての人が暮らしやすい街をつくる ●

● すべての人が良き個性をのばし、より良き人生になるよう支援する ●

みやサポ通信発刊にむけて



はじめに、このたび『みやサポ通信』の記念すべき第1号を発刊させていただけたことを、皆様に心から感謝いたします。

去る9月20日、『NPO 法人みやっこサポート』を立ち上げるべく総会を開き、役員、社員の皆様との総意のもとに今後の組織運営について決議し、無事、兵庫県の担当課にNPO 法人設立の申請ができましたことを、ここにご報告させていただきます。

順調にいけば12月中に認可がおり、来年1月に法務局に登録をする運びとなります。皆様のご厚意に深く感謝いたします。

ここまでの道程を振り返ると胸がいっぱいになります。「すべての人が“助けて!”と言えるまちにしたい」という志だけで出発した私でした。しかし、巡り合ったお一人おひとりが、それぞれの素晴らしい個性で欠けているところを補い一つの形にして下さった。それが『みやっこサポート』だと思います。

これよりは、地域でご活動されている方々、そしてまだまだ地域に埋もれている力と一つになり、協同でこれから来る厳しい時代に備えられる共生のまちづくりに貢献していきたいと思っております。

そのために、この『みやサポ通信』を、報告や挨拶という形ではなく、社会に役立つツールの一つとして、市民参加の情報紙として育てていきたいと考えています。

皆様のこれからのご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



平成27年10月1日

みやっこサポート 中島 恵美

平成27年度役員

理事長：中島 恵美 / 副理事長：中村 善三 / 副理事長：正木 京子
理事：井上 眞一郎 / 理事：祝井 正人 / 理事：四宮 敬仁
理事：長尾 孝 / 理事：福原 千尋 / 監事：永田 三恵子

役員のご挨拶

理事長

中島 恵美

何十年間も、福祉のことが頭から離れない、通称『福祉オタク』です。福祉事業所の職員として 16 年勤務しているときに、地域福祉の役に立とう！と一大決心をし、通信大学を 10 年かけて今年卒業し社会福祉主事を取得しました。残念ながら今年の社会福祉士の国家試験は落ちましたが、「根性」で受け続けたいと思っています。これからの厳しい時代を乗り越えられる社会のシステムづくりに貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

副理事長

中村 善三

私は 16 年前にくも膜下出血、3 年前に脳出血になりました。現在も左片麻痺、高次脳障害、失語症（軽度）の後遺症が残っています。毎日、社会復帰をするためジム、プールでリハビリを続けています。私（障がい者）の視点で、介護や福祉の改善点が見つけられるように勉強してまいります。

副理事長

正木 京子

西宮を対象エリアとして、足と目で集めた地域情報の発信に努めてまいりました。みやっこサポートを通して、必要な情報が必要な人のところに的確に届けられることができるよう、工夫を重ねます。また、文化振興のお手伝いをしてきた経験を活かし、みやっこならではのイベントを企画してまいります。

理事

井上 眞一郎

西宮の自宅で約 4 年間、家族介護を経験しました。その経験を基に、今現在介護生活を送られている方々に、有益な情報提供やストレス解消のイベントの開催、介護者同士の交流の場の提供などを企画していきたいと思っております。

理事

祝井 正人

これまで、言わばコミュニケーション・デザインに関わる仕事に携わってきた関係で、多様な方々への情報提供や普及活動促進のためにお役に立てればと思っています。みやっこサポートの活動の輪が、もっと広がりますように。

理事

四宮 敬仁

西宮（夙川地区）に暮らし始めて丁度 20 年。3 人の子供が元気で明るく育ったのは、この西宮の環境があってのことだと、いつも感謝しております。「その有り難さを社会になんらかの形でご恩返ししたい」と常々思っており、安井小学校区でのボランティアなどのお手伝いをしてまいりました。今回ご縁があってこの「みやっこサポート」の理事をさせていただくこととなり、何らかの力になれますよう、引き続き頑張ってお参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事

長尾 孝

私は福岡出身ですが、私たちのような市外からの転入者は、地域の方々と関わる機会が少なく、気軽に相談できる相手もおらず、孤立しがちです。そこで地域でつながりたいという思いからごみ拾いボランティア等の活動を続けております。良い意味で「よそ者」の視点から転入者と地域のみなさんをつないだり、子育て真っ最中でもあるため、子育て世帯と子育て先輩をつなぐキッカケをみやっこサポートを通して作っていきたくと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

理事

福原 千尋

19 年間、理学療法士として他市の福祉と医療の現場で働いてきました。振り返ると西宮の福祉と医療のことを全く知らないということに気づきました。

この度、お声をかけていただき微力ではありますが少しでもお役に立てるよう一緒に頑張りたいと思います。

ひとに学ぶ

兵庫県重症心身障害児（者）を守る会
社会福祉法人甲山福祉センター
西宮すなご医療福祉センター保護者会
会長 小山 京子さん

障害児を守って50年

10月2日（金）、理事長・中島、副理事長・中村、正木の3名は、西宮すなご医療福祉センターを訪ね、重症心身障害児（者）の福祉向上のために力を注いでおられる小山京子さんにお会いしました。

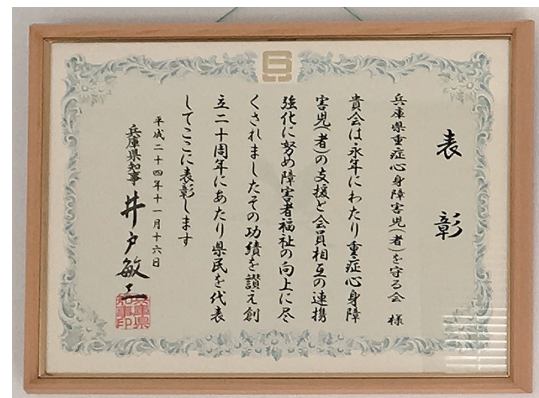
スタイルがよくて、ヘアスタイルもメイクもとてもおしゃれな小山さんは、開口一番に「障害児（者）に対して、現在は手厚く守られています、最初からそうだったわけではないのです。今の障害児（者）の親は、制度の成り立ちを知らないのです、なんでも国がしてくれて当たり前と思っています。でも法改革によって、来年以降はこれまでと同じ福祉サービスが受けられるとは限らないのです」とおっしゃいました。

障害児を守る会の歴史

重症心身障害児（者）を守る会（以下守る会）の誕生は、北浦貞夫・雅子夫妻と小児科医の小林提樹氏との出会いに始まります。北浦家のご子息は種痘による脳性マヒ

で激しいけいれん発作を起こしていましたが、小林医師の治療によって発作が軽減したことをきっかけに、小林医師が手掛けようとしていた「島田療育園」創設のための活動や国への陳情に同行しました。昭和30年代は、障害児を抱えた親子心中が多発した時期で、一日も早い療育園の創設を目指して、何度も何度も国会に足を運んでいます。

願いが通じて国から委託研究費の名目で400万円の予算が下りたのは1961年。さらに、当初は18歳未満の年齢制限があっ



設立20周年を記念した表彰状

たため、将来にわたって介護をしていかなければならない障害児（者）のために恒久的な受け入れ施設を整えるためには、社会的な認知が必要であるとして「守る会」が結成され、北浦貞夫氏が初代会長になりました。

陳情の初期には「重い障害を持って世の中の役に立てない人に、税金を使うわけにはいかない」という言葉が返ってきましたが、北浦さんたちは「重い障害を持った人を切り捨てたら、次はだれを切り捨てるのですか?」と切り返して、国を動かしてきました。

1965年から70年は、国立療養所をふくめた施設拡充と年齢制限の撤廃のために活動し、在宅児への支援と経済的保障、芸能人による「あゆみの箱」創設、度重なる国の調査を経て、1966年にはようやく年齢制限が撤廃されて、18歳以上の障害者も施設を利用できるようになったのです。

子供の成長とともに

ご自身のお子さんが2人ともダウン症である小山さん。「でも、私は不幸だと思ったことがないのです。子供たちは、“えらい人”でなく“好かれる人”になってほしいと育ててその通りに育ちました。身体に障害があっても心に障害のない子供たちは、生きていることそのものが素晴らしいです」と、親として当たり前の姿勢で微笑んでおられ、その清々しさと美しさに胸を打たれました。

みやっこサポートとの協同もお考えに加えていただきました。たくさんの勇気をいただいて帰ってまいりました。

(副理事長・正木 京子)



これまでの経過

- 平成 27 年 8 月 1 日 西宮市桜谷町 10 番 6 号に事務所開設
- 平成 27 年 8 月 8 日 『みやっこサポート』設立
- 平成 27 年 8 月 29 日 西宮北部ツアー開催(名塩)
- 平成 27 年 9 月 9 日 Facebook『西宮の一と』公開
- 平成 27 年 9 月 20 日 『NPO 法人みやっこサポート』設立総会
- 平成 27 年 9 月 24 日 兵庫県に『NPO 法人みやっこサポート』設立申請書提出

これからの予定

- 平成 27 年 10 月 25 日 西宮北部ツアー開催(武田尾)
 - 平成 27 年 11 月 8 日 西宮北部ツアー開催(船坂)
 - 平成 27 年 11 月 17 日 西宮北部ツアー開催(武田尾)
 - 平成 27 年 11 月 21 日 宮女～MIYAJO～秋の祭典開催
- ☆今後、市民参加のイベント、市民の生活に役立つ講演などの開催、地域での市民の集い場づくりを行い、市民生活の情報を WEB 発信します。
- ※行事は変更になる場合がありますので、Facebook、ホームページ、お電話にてご確認ください。

みやっこサポート会員募集

MSS 会員(賛助会員) …… 年会費 1 口 3,000 円

みやっこサポートの目的に賛同し、応援する会員。

みやサポ通信(活動状況や市民生活に関わる情報紙)を郵送、またはメールにて発信します。

MSS 団体会員(賛助会員と同じ条件) …… 年会費 1 口 10,000 円

みやっこサポートの目的に賛同し、応援する団体会員。

みやサポ通信を郵送、またはメールにて発信します。

団体会員様情報を、HP 及びみやサポ通信に掲載し、会員や市民の皆さんへご案内します。

JOB 会員

支援活動で参加します。(会費はありません)

MSS ご寄付

みやっこサポートの活動をご寄付で支援。

みやサポ通信を郵送、またはメールにて発信します。

◎みやっこサポートは、市民の生活を市民の力を持ち寄ってより良いものにしていくという集まりです。いただいた会費、ご寄付は、みやっこサポートの活動に大切にに使わせていただきます。

※会員申込の方は、必ず会員登録をしてください。

会費・ご寄付の振込先

銀行・支店名：三井住友銀行 夙川支店(店番 374)
口座番号：普通 4218784
名義：みやっこサポート 代表 中島 恵美
(ミヤッコサポート ダイヒョウ ナカシマ エミ)